

## 10 スイゲンゼニタナゴ (コイ科)

*Rhodeus atremius suigensis*

兵庫県ランク:絶滅

環境省ランク:CR

## 種の概要

全長は5 c m程度。河川下流域に続く用水路に生息する。底生動物に偏った雑食性。産卵盛期は5月で、マツカサガイなどの二枚貝の鰓に卵を産み付け、1年で成熟する。兵庫県から広島県にかけての山陽地方に分布する。



写真提供: 兵庫県立人と自然の博物館(撮影: 増田 修)

## 県内における生息状況及びその他特記事項

県内では1977年に赤穂市にある千種川下流の水路で採集されたのを最後に、以降確認されていない。県内では絶滅したものと考えられる。

## 保護上の留意点

本種が絶滅に至った要因として、河川改修や圃場整備に伴う、河川、農業用水路の環境変化、生活排水などによる水質汚濁、これらの変化に伴う、本種の産卵基質となる二枚貝の減少等が挙げられる。河川環境が再び整えば、再導入を検討する余地がある。

## 県内分布

赤穂市

## 主要な選定理由

|     |    |   |
|-----|----|---|
| 人為性 | 激減 | ○ |
|     | 環境 | ○ |
|     | 捕獲 | ○ |
|     | 遺伝 |   |
| 特殊性 | 特殊 | ○ |
|     | 孤立 | ○ |
| 学術性 | 極限 | ○ |
|     | 限界 | ○ |
|     | 希少 | ○ |



【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励